

令和4年3月

武蔵野市医師会在宅医療介護連携支援室

石井

# R3年度(4月～2月) 実績

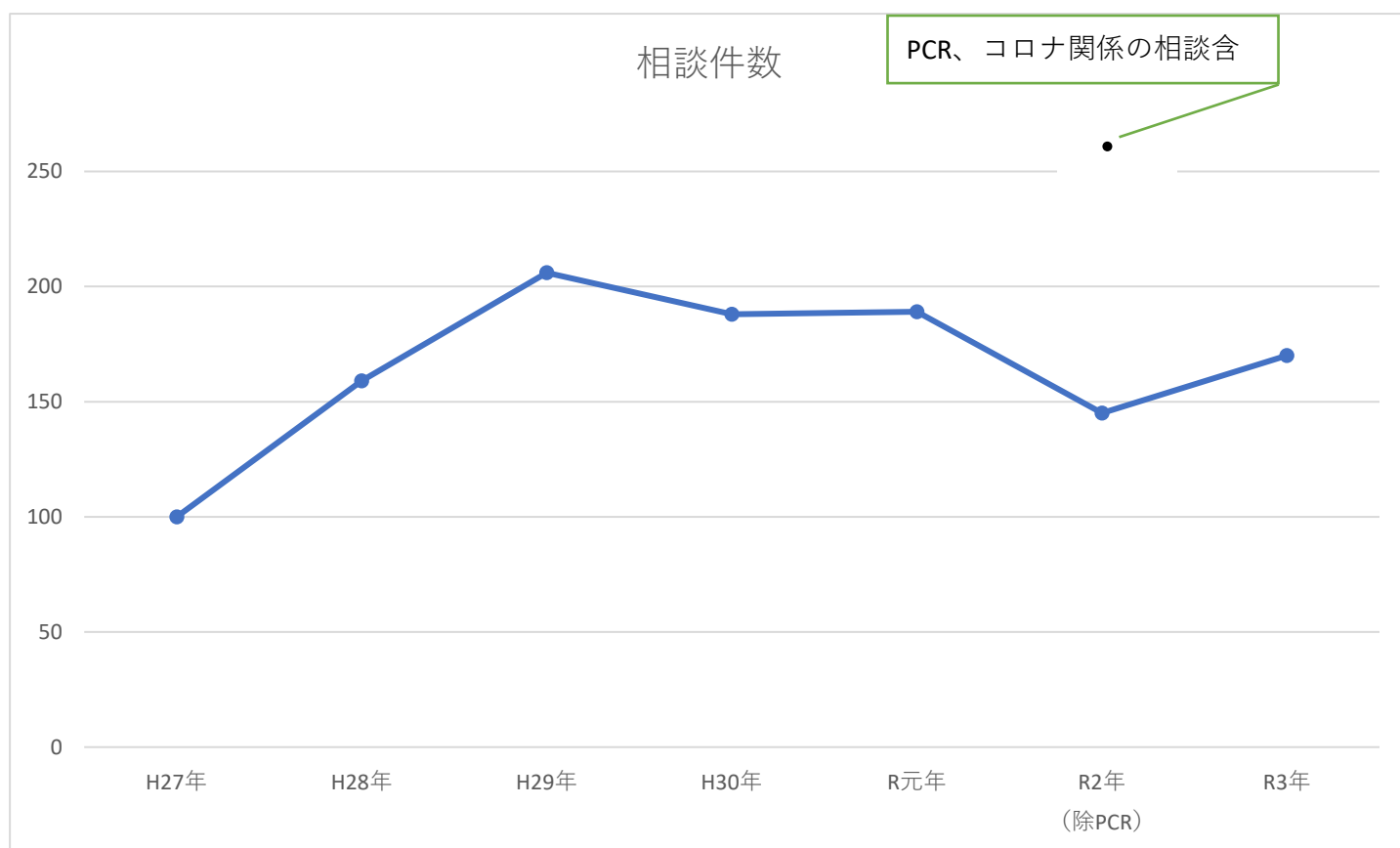
## 相談件数

(4月～2月比較)

(件)

	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年 (除PCR)	R3年
相談件数	100	159	206	188	189	145	170

R2年
264



- ・昨年度はコロナ関連の相談が激増した。今年度はコロナウイルスがどのようなウイルスであるかわかってきたこと。PCR検査体制、入院のルート、ワクチン接種体制が整ってきたこと等からコロナ関係相談は減少。
- ・コロナ関連の相談は36件。昨年度の115件からは大幅に減少。  
相談の内容もパニックというより具体的な療養体制についてと変化がみられる。
- ・コロナ以外の医療と介護の連携に関する相談は平均して入っている。

## 相談内容

%

%

		R3 除ｺｺ	R3 含ｺｺ
在宅	在宅療養調整	46.3	36.5
	入院入所調整	11.2	8.8
退院	退院在宅調整	2.2	1.8
	転院調整	2.2	1.8
	MCS	18.7	14.7
	その他	20.1	15.9
	コロナ関係		21.2

参考

		R2 除ｺｺ	R2 含ｺｺ
		47.4	25.4
		11.3	6.1
		10.5	5.6
		8.3	4.4
		10.5	5.6
		12.0	6.5
			46.4

- ・コロナ関連相談について。

前年度は「熱が出た。どうしよう」といったパニックの相談が多数あり。

また、検査がどこまでできるのか、陰性の証明をしたいなど、検査に関する相談も多くあった。

今年度は、コロナという疾患やそれに対応するための検査や予防接種の知識は浸透したと思われる  
相談も具体的に「濃厚接触者の介護について」「介護者が陽性の場合の介護について」等の相談。

また、市役所安全対策課自宅療養者支援センターと連携した在宅療養者への医療介入相談。

在宅療養の軽症患者の重症化を防ぎ、また、陽性患者の安心療養につながった。

- ・通常相談においては在宅療養継続に関する相談が例年通り半数を超えている。
- ・SNSを利用した連携が必要とされMCSについての相談増。
- ・在宅療養相談の特徴としては今年度も患者本人、家族に精神疾患が疑われるようなケースが増えている。現在、精神科の往診が、医療保険の算定上できにくいため、専門性のある診断を受けることが困難。来年度、クリニックと医療デイ併設の精神科心療内科が市内に開業予定に期待。
- ・その他の分類相談が増。何でも気楽に相談してみようと当支援室の認知度が周知されてきた。

## 相談者

%

	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年
医療機関	17.2	30.7	21.7	28.0	25.7	36.7	21.2
地域包括・在支・行政	23.0	22.9	13.4	18.0	22.3	13.3	19.4
居宅（ケアマネ）	42.5	34.3	43.3	33.1	33.7	25.4	39.1
訪問看護	5.7	2.1	4.1	1.7	1.7	2.4	5.9
訪問介護系		0.0	1.0	0.6	0.0	0.4	1.2
通所系		2.9	0.5	2.9	2.3	0.4	0.6
施設系		1.4	2.6	1.2	1.7	1.2	0.6
その他	11.5	5.0	13.4	14.5	12.6	20.2	11.8

- ・例年同様、ケアマネからの相談は多数を占めるが、連携の取れているケアマネからの相談が多い。さらなる今後の「連携支援室」の周知が必要と思われる。

- ・地域包括・在支・行政の中に、自宅療養支援センターが計上されている。センターとの連携が良好に機能した。
- ・医師会のHPをみて等の市民から直接の相談も今年度も見られた。  
現在、受けた相談に関しては、「傾聴」「該当機関へつなぐ」などの対応をしている。

## 出席会議

(各年度4月から2月)

	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年
	61	61	51	65	62	30	33

- ・感染症対策として会議の中止や延期が相次ぎ、昨年度同様核になる会議のみ開催。
- ・オンライン会議も導入されてきているが顔の見える会議開催が待たれる。

## 訪問件数

(各年度4月から2月)

	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年
	179	165	98	127	114	137	221

- ・感染症対策として、訪問等を控えていた。221件のうち102件はワクチン集団接種業務。協力看護師の配置等で集団接種に関わったが、このことにより、医師、看護師、健康課とも連携を深めることができた。

## コロナ関係相談

(件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
0	0	2	4	8	5	2	1	3	3	8	36

- ・感染症在宅療養に関するより具体的な相談、  
例 在宅療養中のオンライン、電話も含む診療体制の相談  
在宅療養中児童の急な歯科治療の相談
- ・介護者が陽性となった場合の要介護者の介護相談  
→レスキューヘルパーの活用

## 考察

- \* 昨年度は、予期せぬ感染症流行で始まり冬期への再拡大リスクで翻弄された。今年度は、コロナ関係の相談もパニックや不安の相談より、具体的に陽性者の在宅支援と結びついたものが多い印象。
- \* 医師会支援室として今年度のコロナ関係の業務としては下記の2事業を行った
  - ・集団接種の医師、看護師の配置調整
  - ・令和3年2月から市役所防災課に設置された自宅療養患者支援センター経由の医療相談
 この2事業を通じ、市民の安心安全に迅速に対応でき、なおかつ、会員の医師、協力看護師、

市役所との円滑な連携体制を確立することができた。

- \* 本来の医療介護の相談傾向としては
  - ・ 整形疾患と内科疾患、精神疾患と内科疾患など重複して多科の経過観察が必要な相談が多数。
  - ・ 介護者も含む精神疾患が疑われるケース（コロナの不安により精神状態が不安定）
  - ・ 緩和ケアの相談や患者さんが亡くなった後のグリーフケアについてなど、多様化している印象がある。
- \* 来年度の課題
  - ・ 医師会連携室の中長期的な展望、体制を明確化
  - ・ 相談窓口として、対象の検討